

授業科目名	コミュニケーション学 (英: Human Relations)		
対象学年	1年生	単位	2単位
科目責任者	田妻 進	所属	総合診療科 (内線 5461)
		メール	stazuma@hiroshima-u.ac.jp
授業方法	講義		
概要	人間関係の基本は「好意」を得ること、そのためには「聴く」姿勢が重要であることを理解し、医療利用者（患者、家族）との信頼関係を築く礎となるさまざまなコミュニケーション技術を知る。 (http://home.hiroshima-u.ac.jp/mededu/course_syllabus.html#p01)		
到達目標	医療におけるの基本となるコミュニケーション能力を学ぶ		
講義日程	第1回 ガイダンスと総論 (田妻) 第2回 基本的なコミュニケーションスキルⅠ (溝岡) 第3回 基本的なコミュニケーションスキルⅡ (溝岡) 第4回 基本的なコミュニケーションスキルⅢ (溝岡) 第5回 入院診療とコミュニケーション～レジデントサバイバル① (横林) 第6回 外来診療とコミュニケーション～レジデントサバイバル② (横林) 第7回 訪問診療とコミュニケーション～レジデントサバイバル③ (横林) 第8回 医療とコミュニケーション (木村) 第9回 医療とコミュニケーション (宮森) 第10回 医療とコミュニケーション (上田) 第11回 医療とコミュニケーション (石田) 第12回 医療とコミュニケーション (岸川) 第13回 医療とコミュニケーション (大谷) 第14回 医療とコミュニケーション (小林) 第15回 医療とコミュニケーション (菅野) 試験		
出席の取り扱い	3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。		
評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)		
評価法	記述形式にて試験を行う。 記述問題の総点と出席点(40点程度)を加算して100点満点として計算する。記述問題の採点基準は、記述式問題は3題あり、採点基準は表現(読みやすさ、誤字脱字)、記載内容(文章量、考察の幅広さと深さ)などを元に行う。		
履修上の注意 アドバイス	グループワークでは積極的に参加をすること。解剖学等忙しい時期であるが、特に予習・復習を要するプログラムではないので、講義には必ず出席し、この時間は医療におけるコミュニケーションのあり方について考えをめぐらせてもらいたい。		
推奨参考書	齊藤清二：はじめての医療面接ーコミュニケーション技法とその学び方ー。医学書院、東京、2000		